

令和6年度 中央区地域力向上事業(助成事業) 事後評価【南地域】

No.	事業名	団体名	評価					総事業費	市執行額 (補助金額)	採択回数
			達成度	活用度	貢献度	支援の 妥当性	費用対 効果			
1	熱い!!スポーツ寺子屋!! (in 遠州灘海浜公園-風車公園-)	スポーツ寺子屋in遠州灘海浜公 園 -風車公園-プロジェクト	B	B	B	B	B	428,660円	107,000円	3回目
2	耕作放棄地活用事業 ～持続可能なコミュニティづくり～	NPO法人水辺の里まちづくりの 会	B	A	A	A	B	377,885円	150,000円	2回目
3	冊子「家康と浜松の伝説」作成事業	飯田郷土史会	A	A	B	B	B	864,360円	432,000円	1回目
4	地域交流 健康増進/防災意識向 上イベント	医療法人社団綾和会 浜松南病 院	B	A	A	A	A	911,957円	358,000円	2回目
合計								2,582,862円	1,047,000円	

地域力向上事業の評価基準について

評価項目	評価		
事業目的の達成度	A 高い	B 普通	C 低い
地域資源の活用度	A 高い	B 普通	C 低い
地域への貢献度	A 高い	B 普通	C 低い
財政支援の妥当性	A 高い	B 普通	C 低い
費用対効果	A 高い	B 普通	C 低い

助成事業 No. 1

< 令和6年度 > (中央区南行政センター 地域振興担当)

(1)事業名	熱い!!スポーツ寺子屋!! (in 遠州灘海浜公園-風車公園-)	(2)採択回数	3回目 (補助率25%以内)								
(3)実施団体名	スポーツ寺子屋in遠州灘海浜公園-風車公園-プロジェクト										
(4)事業の目的	3年目となる寺子屋@遠州灘、人気アンケートからスポーツを絞り、“コミュニティ形成”を目的として年間を通じて育む事により、公共施設・地域拠点の文化的価値向上を図る ・スポーツ機会の向上（スポーツ振興） ・来園者の定着、愛着(=ロイヤリティ)創出 ・SNSによる情報発信により、遠州灘・中田島の魅力を全国へ発信する										
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">イベント名</td><td>熱い!!スポーツ寺子屋!!(in 遠州灘海浜公園-風車公園-)</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和6年4月1日～令和7年3月31日</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>遠州灘海浜公園-風車公園-</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">内容</td><td> ・スポーツ教室を年14回開催。かけっこ教室、ボクシング体験、測定体験、ボール遊び、運動遊びを4回、バスケットボール体験・試合を4回実施。 学校が長期休暇中である12月と3月に3日連続で開催した。 参加人数計63名。 ・SNSによる情報発信については、Instagramでの投稿を18回実施した。フォロワー数は前年の136人から229人に増加した。 </td></tr> </table>			イベント名	熱い!!スポーツ寺子屋!!(in 遠州灘海浜公園-風車公園-)	実施時期	令和6年4月1日～令和7年3月31日	実施場所	遠州灘海浜公園-風車公園-	内容	・スポーツ教室を年14回開催。かけっこ教室、ボクシング体験、測定体験、ボール遊び、運動遊びを4回、バスケットボール体験・試合を4回実施。 学校が長期休暇中である12月と3月に3日連続で開催した。 参加人数計63名。 ・SNSによる情報発信については、Instagramでの投稿を18回実施した。フォロワー数は前年の136人から229人に増加した。
イベント名	熱い!!スポーツ寺子屋!!(in 遠州灘海浜公園-風車公園-)										
実施時期	令和6年4月1日～令和7年3月31日										
実施場所	遠州灘海浜公園-風車公園-										
内容	・スポーツ教室を年14回開催。かけっこ教室、ボクシング体験、測定体験、ボール遊び、運動遊びを4回、バスケットボール体験・試合を4回実施。 学校が長期休暇中である12月と3月に3日連続で開催した。 参加人数計63名。 ・SNSによる情報発信については、Instagramでの投稿を18回実施した。フォロワー数は前年の136人から229人に増加した。										
(6)総事業費	428,660円	(7)補助金額	107,000円								

	項 目	ランク		
		A	B	C
(8) 評 価	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5 費用対効果	高い	普通	低い
(9) 意見等				
1 事業目的の達成度 ・スポーツ教室開催前に、近隣の小学校や㈱TOMORUNイベントでチラシを配布したり、公園の掲示板で告知を行う等、参加者を募ったが、参加人数の確保に苦慮した。 ・スポーツ教室を通じ、令和4年度に設置されたバスケットリングの存在を知り、教室以外の時にも家族や友人と公園に遊びに来ている住民もいることから、来園者の定着、愛着の創出につながった。 ・SNS（インスタグラム）では、スポーツ教室の様子とともに、中田島砂丘や風車公園の景観も発信し、南地域や遠州灘海浜公園の魅力や認知向上に寄与した。 2 地域資源の活用度 ・中田島砂丘に隣接する遠州灘海浜公園の風車公園をスポーツ教室の場として活用した。 ・南地域に居住しているトレーナーを講師として招き、スポーツ教室を実施した。 3 地域への貢献度 ・地域の小中学校からは、部活動の地域移行により、こどものスポーツ機会の喪失を問題視している声が聞かれる中で、「全てのこどもたちが経済的な理由でスクールに通えるわけではないため、こどものスポーツ機会の受け皿となってほしい。」との要望があったとのことだが、スポーツ教室を開催することで、地域からの要望に応えることができたと考える。 4 財政支援の妥当性 ・スポーツが得意でない子、スポーツをこれから始めるこどもにとって、入口のスポーツ教室の役割を果たしており、浜松市の第3期浜松市スポーツ推進計画で定める「するスポーツ」の推進に寄与していることから、公益性はあると考える。 5 費用対効果 ・年14回スポーツ教室を開催している点、年18回のインスタグラムを発信しフォロワー数が229人に増加している点から、こどものスポーツ機会の創出と、中田島地域の認知向上について一定の効果を上げていると考える。 6 その他 ・令和7年度から㈱TOMORUNが事業を吸収し地域貢献事業の一環として継続していくとのことであり、今後も地域のこどもたちがスポーツを機会の創出の場となることを期待する。				

第10号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	熱い!!スポーツ寺子屋!!（in 遠州灘海浜公園-風車公園-）
事業主体名 （共催、後援、協力等）	スポーツ寺子屋 in 遠州灘海浜公園-風車公園-プロジェクト
実施時期	令和6年4月1日～令和7年3月31日（計14回実施）
実施場所	遠州灘海浜公園-風車公園-
参加人数	団体スタッフ延べ56名、参加者 63名
事業の内容	■スポーツ教室の定期実施 実施日：年間14回開催 ○フィットネスデイ：10回開催（令和6年4～10月：4回、11月以降：学校が長期休暇中である12月と3月に3日連続で開催）計50名 ・かけっこ教室：TOMORUN ・ボクシング体験：(株)Active 代表取締役 元A級プロボクサー 大庭宏之 ・日替わりコンテンツ（測定体験・ボール遊び・運動遊び等） ○バスケットボールデイ：4回開催、計13名 ・バスケ体験・試合：浜松学院大学バスケットボール部（4～6月のインターン期間） ■SNS発信 「スポーツ寺子屋」のSNSコンテンツによる情報発信を年間通じて実施。イベント内容やバスケットボールリンクのみならず、“遠州灘の魅力”を発信。
事業目的の 達成度	①スポーツ機会の向上（スポーツ振興） スポーツが得意でない子、スポーツをこれから始める子にとっての入口のスポーツ教室の役割を果たした。 ②来園者の定着、愛着（=ロイヤリティ）創出、拠点の文化的価値向上 本事業が実施されていない時でも、事業の一環で公園に誘致したバスケリングに遊びに来る家族連れが多かった。 ③SNSによる情報発信により、遠州灘・中田島の魅力を全国へ発信する 中田島題打ちのInstagramのフォロワー数を増加させ、遠州灘海浜公園-風車公園-の認知向上に寄与した。
地域資源の 活用度	①遠州灘海浜公園-風車公園-の資源 事業の一環で静岡県バスケットボール協会から遠州灘海浜公園へ誘致したバスケリングは、本事業の“シンボル”となり、同公園の広大な芝生も重なって、本事業の“ほのぼの感”創出に寄与した。 ②地域のスポーツ人材活用 バスケットボールデイでは、浜松学院大学バスケットボール部の学生が運営スタッフとして関わる等、地域の若いスポーツ人材を積極的に活用した。

地域への 貢献度	地域の小中学校からは、部活動の廃止の風潮・方向性に伴って、こどものスポーツ機会の喪失を問題視している声が聞かれる中で、本事業に対して「全てのこどもたちが経済的な理由でスクールに通えるわけではないため、こどものスポーツ機会の受け皿となって欲しい。」との要望があった。
財政支援の 妥当性	本事業を、単一事業として収益化する事は難しく、スポンサー企業を募集するにも企業としての費用対効果が見込めない為、スポンサー営業が難しい。よって、本事業は公金支援の3年間でブランディング化して認知を広げる期間を頂いた事は、今後の自主運営に際して、大きな財産となった。
費用対効果	残念ながら、事業としての費用対効果は薄い。 公益的観点では、中田島地域の認知向上、こどものスポーツ機会の創出、として成果はあったが、収益面の弱さはあり、事業単体の収支については、永遠に課題となる。
今後の方向性	来年度以降は、株式会社 TOMORUN として事業を吸収し、弊社の地域貢献事業の一環として継続する。事業費は、弊社が負担する。
備考	

第 11 号様式（第 10 条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	107,000	107,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	428,660	428,930		△270	

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	209,000	209,000			(株)Active 9 回分 11,000 円*9 回 ※補助対象経費の総額の 50%を超える分(4 回分 44,000 円)については対象経費から除外 (株)TOMORUN 10 回分 11,000 円*10 回
需用費 (消耗品費用)	12,000	12,000			バスケットゴール修理

需用費 (印刷製本 費)	4,200	4,470		△270	4-7 月分 1,140 円 (内 270 円分は ポイントで支払い) 増刷 1,960 円 8-10 月 1,370 円
役務費 (保険料)	16,500	16,500			(株)TOMORUN 傷害保険手配
委託料	186,960	186,960			(株)TOMORUN 人員手配 ・時給換算 984 円 ・16 回 (中止 2 回含む) 開催 (5h)+準備 (1 回 5h) ・SNS 掲載時間数 (年間通し 30h)
計	428,660	428,930		△270	

助成事業 No. 2

＜ 令和6年度 ＞ （ 中央区南行政センター 地域振興担当 ）

(1)事業名	耕作放棄地活用事業 ～持続可能なコミュニティづくり～	(2)採択回数	2回目 (補助率40%以内)								
(3)実施団体名	NPO法人水辺の里まちづくりの会										
(4)事業の目的	・耕作放棄地拡大防止、農地保全、環境整備 ・そば打ち、農業体験で希薄化進行中のコミュニティ再生 ・昔ながらの農業体験で、「和食」の心を児童や外国籍住民に教育宣伝、世界遺産の精神を会得してもらう。										
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">イベント名</td><td style="text-align: center;">耕作放棄地活用事業～持続可能なコミュニティづくり～</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施時期</td><td style="text-align: center;">令和6年4月1日～令和7年3月31日</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施場所</td><td style="text-align: center;">浜松市中央区河輪町、東町、他町 小中学校</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">内容</td><td> ・耕作放棄地でのそば等の栽培及びそば打ち体験会を実施。参加者は延べ300人。こどもから高齢者まで幅広い世代の参加があった。 ・そばの収穫量は約10kgとなった。約50kgのそば収穫を見込んでいたが、高温や大雨等の異常気象により収穫量は減少した。その他通学路の耕作放棄地に草花を植えたことで景観向上、通学路の安心安全の確保に繋がった。 ・そば打ち体験会を年23回実施。各回10人ほどが参加し、地域住民が参加した。 ・地域イベント（河輪まつり、ふれあいまつり等）にて出前そば打ち体験と試食会を行い、イベント参加者にそば打ち体験の場を提供した。 </td></tr> </table>			イベント名	耕作放棄地活用事業～持続可能なコミュニティづくり～	実施時期	令和6年4月1日～令和7年3月31日	実施場所	浜松市中央区河輪町、東町、他町 小中学校	内容	・耕作放棄地でのそば等の栽培及びそば打ち体験会を実施。参加者は延べ300人。こどもから高齢者まで幅広い世代の参加があった。 ・そばの収穫量は約10kgとなった。約50kgのそば収穫を見込んでいたが、高温や大雨等の異常気象により収穫量は減少した。その他通学路の耕作放棄地に草花を植えたことで景観向上、通学路の安心安全の確保に繋がった。 ・そば打ち体験会を年23回実施。各回10人ほどが参加し、地域住民が参加した。 ・地域イベント（河輪まつり、ふれあいまつり等）にて出前そば打ち体験と試食会を行い、イベント参加者にそば打ち体験の場を提供した。
イベント名	耕作放棄地活用事業～持続可能なコミュニティづくり～										
実施時期	令和6年4月1日～令和7年3月31日										
実施場所	浜松市中央区河輪町、東町、他町 小中学校										
内容	・耕作放棄地でのそば等の栽培及びそば打ち体験会を実施。参加者は延べ300人。こどもから高齢者まで幅広い世代の参加があった。 ・そばの収穫量は約10kgとなった。約50kgのそば収穫を見込んでいたが、高温や大雨等の異常気象により収穫量は減少した。その他通学路の耕作放棄地に草花を植えたことで景観向上、通学路の安心安全の確保に繋がった。 ・そば打ち体験会を年23回実施。各回10人ほどが参加し、地域住民が参加した。 ・地域イベント（河輪まつり、ふれあいまつり等）にて出前そば打ち体験と試食会を行い、イベント参加者にそば打ち体験の場を提供した。										
(6)総事業費	377,885円	(7)補助金額	150,000円								

	項 目	ランク		
		A	B	C
(8) 評 価	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5 費用対効果	高い	普通	低い
(9) 意見等				
1 事業目的の達成度 ・そば栽培を通して耕作放棄地の拡大を防止し、農地の保全、環境整備に寄与した。 ・そば栽培、そば打ち体験を通して世代間交流ができ、希薄化するコミュニティの再生に寄与した。 ・昔の農具や道具を使用することで、参加した児童にとって昔の農業や文化を学ぶ「教育の場」となったと考える。 2 地域資源の活用度 ・耕作放棄地をコミュニティ醸成の場となるよう活用した。 ・農業や調理経験が豊富な地域のシニア世代の人材を活用した。 3 地域への貢献度 ・耕作放棄地を活用することで、農地の環境整備、景観向上、通学路の安全、安心の確保に寄与した。 ・そば打ち体験は年間で延べ約230人が参加したり、複数の地域イベントに参加したりと、今までになかった世代間交流や地域間のコミュニティ再生に貢献した。 4 財政支援の妥当性 ・南地域の耕作放棄地の拡大防止、地域コミュニティの交流促進に効果があり、公益性は高いと考える。 5 費用対効果 ・参加人数目標500人は達成できなかったものの、本事業で年間延べ300人の幅広い世代の参加があり、地域コミュニティの再生に寄与した。 ・河輪まつりやふれあいまつり等でそば打ち体験や、地域で栽培したそばをふるまう等、地域コミュニティの活性化につながった。 6 その他 ・今後も耕作放棄地の拡大防止と地域住民の交流の場として、事業が継続されることを期待する。				

第10号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	耕作放棄地活用事業～持続可能なコミュニティづくり～																			
事業主体名 (共催、後援、協力等)	主催 NPO法人水辺の里まちづくりの会 協力 地元町内会、連合自治会、地域高齢者施設、小中学校等																			
実施時期	令和6年4月1日（火）～令和7年3月31日（月）																			
実施場所	浜松市中央区河輪町、東町、他町 小中学校																			
参加人数	団体スタッフ 30名、参加者 300名（延べ）																			
事業の内容	①荒れ農地でのそば等の栽培（活動の様子は別紙のとおり） <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th><th>内容</th><th>参加人数（延べ）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月末～8月中旬</td><td>種まき、ハトによる不良箇所修正 他</td><td>15人</td></tr> <tr> <td>9月7日～20日</td><td>ハト対策ネット外し、除草畦修正、 展示用パネル等作成</td><td>11人</td></tr> <tr> <td>10月11日、12日</td><td>河輪秋祭り事前そば打ち、当日振 る舞い提供</td><td>14人</td></tr> <tr> <td>10月19日、20日</td><td>連合会ふれあい祭りそば打ち他</td><td>15人</td></tr> <tr> <td>10月22日～24日</td><td>収穫後畑整備、残部刈取り、他</td><td>8人</td></tr> </tbody> </table> ・約50kgのそば収穫を見込んでいたが、高温や大雨等の異常気象により、収穫量は10kgとなった。 ・住民（児童含む）による荒れ農地活用、そばの種まき、昔ながらの手作業、古道具使用、石臼で製粉化した。 ②そば打ち体験会等の実施（活動の様子は別紙のとおり） ・毎月第1、第3日曜日 午前9時～11時頃 全23回実施 (6月、9月、10月は月1回、12月は月4回実施) ・各回10人ほどが参加し、外国の方の参加もあった。 ・参加した外国の方を通じて、今後外国にルーツを持つ子どもたちにそば打ちを体験してもらうきっかけづくりができた。 ・地域イベント（河輪まつり、ふれあいまつり等）にて出前そば打ち体験と試食会を行い、イベント参加者にそば打ち体験の場を提供した。(約10人が体験) ・そば打ち体験や試食会、地域イベントへの出展をとおして、コミュニティの拡大や持続に寄与できた。		時期	内容	参加人数（延べ）	7月末～8月中旬	種まき、ハトによる不良箇所修正 他	15人	9月7日～20日	ハト対策ネット外し、除草畦修正、 展示用パネル等作成	11人	10月11日、12日	河輪秋祭り事前そば打ち、当日振 る舞い提供	14人	10月19日、20日	連合会ふれあい祭りそば打ち他	15人	10月22日～24日	収穫後畑整備、残部刈取り、他	8人
時期	内容	参加人数（延べ）																		
7月末～8月中旬	種まき、ハトによる不良箇所修正 他	15人																		
9月7日～20日	ハト対策ネット外し、除草畦修正、 展示用パネル等作成	11人																		
10月11日、12日	河輪秋祭り事前そば打ち、当日振 る舞い提供	14人																		
10月19日、20日	連合会ふれあい祭りそば打ち他	15人																		
10月22日～24日	収穫後畑整備、残部刈取り、他	8人																		

事業目的の 達成度	①そば栽培を通して遊休農地の拡大を防止し、農地の保全、環境整備を行うと同時に、農作業経験の豊富なシニア世代の活躍の場としても活用できた。 ②そばの栽培、そば打ち体験を通して世代間交流ができ、希薄化するコミュニティの再生に寄与できた。 ③昔の農機具や手まき機械器具などを使用し、参加した児童からは大変好評を得られた。
地域資源の 活用度	・栽培に適した遊休土地を活用できた。前年度の栽培の反省を活かし、ハト対策等の栽培環境の見直しを行ったことで、収穫量が前年度 5 kg から 10 kg に増加した。 ・農業や調理経験が豊富な地元シニア世代の活躍の場を提供した。
地域への 貢献度	・遊休農地を活用し、農地の環境整備、景観向上、通学路の安全、安心の確保につながった。 ・そば打ち体験では、今までになかった世代間交流や地域間のコミュニティ再生へ大きく貢献できた。また新たなコミュニティの創造にもつなげられたと考える。
財政支援の 妥当性	・事業を実施することで、南地域の遊休農地の拡大防止、地域コミュニティの交流促進が達成できた。コミュニティの再生には、イベント等を繰り返し行うことが有効であると考えため、補助金を効果的に活用できたと考える。
費用対効果	・事業を通して、遊休農地の拡大防止、景観向上、通学路の安全安心の確保できた。 ・本事業で年間延べ 300 人以上の幅広い世代の参加があり、地域コミュニティの再生に寄与できた。 以上から効果と経費のバランスは適切であったと考える。
今後の方向性	・継続して実施していく。 ・昨今の異常気象は今後も続くと予想される。収穫量を確保するため、そばの栽培を年 2 回に増やし、そば打ち体験では外国籍の方の参加に注力したい。
備考	

第 1 1 号様式（第 1 0 条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	150,000	150,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	377,885	375,000	2,885		

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	0	40,000		△40,000	
賃金	129,000	90,000	39,000		そば栽培（畝作・種蒔き・収穫）、まつり・体験会参加労務等（1,000円×129時間）
消耗品費	61,262	50,000	11,262		文房具 17,677 円 菜園トンネルシート、ステンレスクリップ、クサビ 3,225 円 ジョーロ用ハスの実、PP ロープ 457 円 栽培ネット 1,078 円 テント 12,980 円 そば種、そば粉運搬時 用耐水・耐湿処理用紙 3,359 円 そば打台板磨き用ペーパー 1,316 円

					グラスファイバーポール(鳩除け)2,069 円 ファックス用インクフィルム 1,430 円 保存容器、コネクタ、トング外 1,533 円 ボックスコンテナ、フタ 2,560 円 ほうれん草種、園芸用不織布 918 円 インク 12,660 円
印刷製本費	10,214	40,000		△29,786	コピー代 4,163 円 展示パネル 6,051 円
使用料及び賃借料	41,655	60,000		△18,345	会場使用料 11,655 円 トラクター使用料 30,000 円
原材料費	135,754	95,000	40,754		そば粉、打ち粉 125,704 円 種子 9,570 円 木ネジ 480 円
計	377,885	375,000	2,885		

助成事業 No. 3

< 令和6年度 > (中央区南行政センター 地域振興担当)

(1) 事業名	冊子「家康と浜松の伝説」作成事業		(2) 採択回数	1回目 (補助率50%以内)								
(3) 実施団体名	飯田郷土史会											
(4) 事業の目的	・ 主に南地域にある徳川家康にまつわる伝説等を次世代に分かりやすく伝えること ・ 若い世代や子どもたちに地域や地元の歴史に興味を持つきっかけを与えるとともに地元への愛着や郷土愛を育むこと											
(5) 事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table><tr><td>イベント名</td><td>冊子「家康と浜松の伝説」作成事業</td></tr><tr><td>実施時期</td><td>令和6年8月13日～令和7年3月10日</td></tr><tr><td>実施場所</td><td>浜松市中央区青屋町635</td></tr><tr><td>内容</td><td> ・ 主に南地域の徳川家康にまつわる伝説や言い伝え等についてまとめた冊子を1,000部作成。冊子は若い世代やこどもを対象とし、近隣の小学校や講座等で配付した。 ・ 作成した冊子を活用し、シニアクラブの大会で講座を行い、家庭内で若い世代に伝えていただけるよう冊子の紹介を行った。 ・ 飯田地区社会福祉協議会「第14回ふれあいネット飯田のつどい」でコーナーを設け、冊子の説明をしながら配付を行った。 ・ 冊子の紹介、講座を実施した主な集まりは以下のとおり シニアクラブ飯田大会(114名)、浜松市都市環境フォーラム 社会福祉協議会のつどい(延べ50名程度)、遠江文化財研究会 </td></tr></table>				イベント名	冊子「家康と浜松の伝説」作成事業	実施時期	令和6年8月13日～令和7年3月10日	実施場所	浜松市中央区青屋町635	内容	・ 主に南地域の徳川家康にまつわる伝説や言い伝え等についてまとめた冊子を1,000部作成。冊子は若い世代やこどもを対象とし、近隣の小学校や講座等で配付した。 ・ 作成した冊子を活用し、シニアクラブの大会で講座を行い、家庭内で若い世代に伝えていただけるよう冊子の紹介を行った。 ・ 飯田地区社会福祉協議会「第14回ふれあいネット飯田のつどい」でコーナーを設け、冊子の説明をしながら配付を行った。 ・ 冊子の紹介、講座を実施した主な集まりは以下のとおり シニアクラブ飯田大会(114名)、浜松市都市環境フォーラム 社会福祉協議会のつどい(延べ50名程度)、遠江文化財研究会
イベント名	冊子「家康と浜松の伝説」作成事業											
実施時期	令和6年8月13日～令和7年3月10日											
実施場所	浜松市中央区青屋町635											
内容	・ 主に南地域の徳川家康にまつわる伝説や言い伝え等についてまとめた冊子を1,000部作成。冊子は若い世代やこどもを対象とし、近隣の小学校や講座等で配付した。 ・ 作成した冊子を活用し、シニアクラブの大会で講座を行い、家庭内で若い世代に伝えていただけるよう冊子の紹介を行った。 ・ 飯田地区社会福祉協議会「第14回ふれあいネット飯田のつどい」でコーナーを設け、冊子の説明をしながら配付を行った。 ・ 冊子の紹介、講座を実施した主な集まりは以下のとおり シニアクラブ飯田大会(114名)、浜松市都市環境フォーラム 社会福祉協議会のつどい(延べ50名程度)、遠江文化財研究会											
(6) 総事業費	864,360円	(7) 補助金額	432,000円									

	項 目	ランク		
		A	B	C
(8) 評 価	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5 費用対効果	高い	普通	低い
(9) 意見等				
- 事業目的の達成度 - 徳川家康にまつわる伝説や言い伝え等についてまとめた冊子を1,000部作成し、文字の並び、レイアウト、冊子のサイズなど、若い世代にも読みやすい誌面を作成した。 - 作成した冊子を活用した講座等を行うことで、若い世代や子どもたちに地域の歴史に興味を持つきっかけを与えるとともに、地元への愛着や郷土愛を育むことに寄与した。 - 地域資源の活用度 - あまり知られずに埋もれていた南地域と徳川家康とのつながりに焦点をあてた内容となっている。 - 地元公民館に所蔵されている文献等から、徳川家康にまつわる伝説や言い伝えを収集した。 - 地域への貢献度 - 作成した冊子を近隣の小中学校に配布したり、地域の図書館などの施設に配布する等、文化の伝承や歴史と現代との繋がりを伝えることに貢献した。 - 財政支援の妥当性 - 地域の伝説等を若い世代や子どもたちが知ること、歴史に関心を持つ機会を与えることができ、郷土愛の醸成につながることから、公益性はあると考える。 - 費用対効果 - 冊子1,000部中756部(内159部販売)を配布し、地域の施設に限らず、市内の図書館や観光ボランティアなど幅広く配布していることから、南地域の住民だけではなく、より多くの人に知ってもらえる効果があると考ええる。 - その他 - 今後も冊子を活用した、徳川家康と南地域の伝説を伝える講座を実施することを期待する。				

第10号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	冊子「家康と浜松の伝説」作成事業
事業主体名 (共催、後援、協力等)	飯田郷土史会 (飯田地区社会福祉協議会)
実施時期	2024年8月13日(火)～2025年3月10日(月)
実施場所	浜松市中央区青屋町635
参加人数	団体スタッフ6名、内参加者約160名
事業の内容	・主に南地域の徳川家康にまつわる伝説や言い伝え等についてまとめた冊子を1,000部作成した。冊子は若い世代や子供を対象とし、分かりやすい文章表現を用いるよう心掛けた。冊子は近隣の小学校や講座等で配布した。配布実績は別紙参照。 ・作成した冊子を活用し、シニアクラブの大会で講座を行い、家庭内で若い世代に伝えていただけるよう冊子の紹介を行った。また、飯田地区社会福祉協議会「第14回ふれあいネット飯田のつどい」でコーナーを設け、冊子の説明をしながら配付を行った。 ・冊子の紹介、講座を実施した主な集まりは以下のとおり シニアクラブ飯田大会(114名)、浜松市都市環境フォーラム 社会福祉協議会のつどい(延べ50名程度)、遠江文化財研究会
事業目的の 達成度	・冊子を活用した講座等で、若い世代や子どもたちに地域や地元の歴史に興味を持つきっかけを与えるとともに、地元への愛着や郷土愛を育むことができたと考える。 ・南地域の徳川家康にまつわる伝説を集め、あまり知られていない話を地域住民、幅広い世代に紹介できた。 ・文字の並び、レイアウト、冊子のサイズなど、若い世代にも読みやすい誌面を作成できた。 ・地域のイベントで冊子の紹介を行い、好評を得られた。 ・家康から恩賞を受けた大塚家とそのルーツを探ることで、南北朝時代の遠州地域の勢力図、楠木正成との関わりを追求しまとめることができた。
地域資源の 活用度	・主に南地域の徳川家康にまつわる多種多様な伝説等を集められた。 ・冊子を活用した講座で南地域内の公民館を活用した。 ・徳川家康に関係のある大塚町の大塚氏のルーツについて検証できた。

地域への 貢献度	・徳川家康にまつわる逸話や伝説にあまり関心のない若い世代へ向けて、文化の伝承や歴史と現代との繋がりを伝えられ、地元への愛着の醸成に繋がられた。
財政支援の 妥当性	・冊子の配布により、地域、地元の伝説等を若い世代や子どもたちが知ること、歴史に関心を持つ機会を与えることができ、また郷土愛の醸成にもつなげられた。 ・助成金を活用し、ページ数も冊数も拡大して冊子を作成することができた。
費用対効果	・地域の資源を活用して、地域住民のアイデアを結集したため、地域の魅力の詰まったオリジナリティのある冊子が作成できた。 ・冊子 1,000 部中 756 部(内 159 部販売)は配布できた。また講座等を通して読者や講座参加者から大変好評を得ているため、効果はあったものとする。
今後の方向性	・反響を考慮して、増刷等を検討していきたい。
備考	・冊子を読んだ子供たちや若い人たちの反応を直接確認できる機会が少なかったため、今後、冊子を目にした子供たちが地域の歴史に関心を持つことを期待している。 ・読者から以下の意見をいただいた。 お話が1話ずつ完結で難しい文字にふりがながあって読みやすい。 挿絵などが多く楽しい。 サイズが手頃で扱いやすい。 など

第 1 1 号様式 (第 1 0 条関係)

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	432,000	432,000	0	0	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	864,360	864,360	131,175	△131,175	

2 支出の部

単位：円

区分		決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
				増	△減	
賃金		39,360	39,360	0	0	@984×10h×4 名
需用費	印刷製本費	825,000	825,000	0	0	@825×1000 冊
計		864,360	864,360	0	0	

助成事業 No. 4

＜ 令和6年度 ＞ （ 中央区南行政センター 地域振興担当 ）

(1)事業名	地域交流 健康増進/防災意識向上イベント	(2)採択回数	2回目 (補助率40%以内)								
(3)実施団体名	医療法人社団綾和会 浜松南病院										
(4)事業の目的	・ イベントを通じて地域住民の健康増進と防災意識の向上を図る ・ 地域コミュニティの活性										
(5)事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">イベント名</td><td>①遠州健幸マルシェ ②ブルーライトアップ</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>①令和6年11月10日(日) ②令和6年11月10日～11日</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>浜松南病院(浜松市中央区白羽町26番地)</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">内容</td><td> ①遠州健幸マルシェ ・ 地域住民の健康増進と防災意識の向上を図るイベントを実施。参加者数は約1,000人。 ・ 健康増進を図るイベントとして、体組成測定(Inbody)・骨密度測定・手洗いチェック・ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」の紹介・コンテンプラリーダンスを実施。 ・ 防災意識向上を図るイベントとして、消防車両、救急車両展示・防災体験(けむり体験)、防災食品、防災クッキング、防災グッズ展示、災害図上訓練「DIG」、ステージイベント(アイドル谷本尚穂さんによる防災講座を実施。 ・ その他医療や福祉への関心を高めるイベントとして、お薬分包体験・高齢者体験・ボッチャ体験・福祉車両、セニアカー体験や、地域の学生による和太鼓演奏・書道パフォーマンス、浜松アイドルユニットH&A. ライブ・縁日・キッチンカーの出店等を実施。 ・ 医療講演会の開催(各1回)。演目は、「大規模災害時に医療はどうなる?」、「浜松、南でもリハビリ体操」、「災害時も健康に過ごすために」延べ104人参加。 ②ブルーライトアップ ・ 11月14日の世界糖尿病デーに合わせて、病院を11月10日～11日の間ブルーライトアップし、糖尿病の予防等の啓発を図った。 </td></tr> </table>			イベント名	①遠州健幸マルシェ ②ブルーライトアップ	実施時期	①令和6年11月10日(日) ②令和6年11月10日～11日	実施場所	浜松南病院(浜松市中央区白羽町26番地)	内容	①遠州健幸マルシェ ・ 地域住民の健康増進と防災意識の向上を図るイベントを実施。参加者数は約1,000人。 ・ 健康増進を図るイベントとして、体組成測定(Inbody)・骨密度測定・手洗いチェック・ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」の紹介・コンテンプラリーダンスを実施。 ・ 防災意識向上を図るイベントとして、消防車両、救急車両展示・防災体験(けむり体験)、防災食品、防災クッキング、防災グッズ展示、災害図上訓練「DIG」、ステージイベント(アイドル谷本尚穂さんによる防災講座を実施。 ・ その他医療や福祉への関心を高めるイベントとして、お薬分包体験・高齢者体験・ボッチャ体験・福祉車両、セニアカー体験や、地域の学生による和太鼓演奏・書道パフォーマンス、浜松アイドルユニットH&A. ライブ・縁日・キッチンカーの出店等を実施。 ・ 医療講演会の開催(各1回)。演目は、「大規模災害時に医療はどうなる?」、「浜松、南でもリハビリ体操」、「災害時も健康に過ごすために」延べ104人参加。 ②ブルーライトアップ ・ 11月14日の世界糖尿病デーに合わせて、病院を11月10日～11日の間ブルーライトアップし、糖尿病の予防等の啓発を図った。
イベント名	①遠州健幸マルシェ ②ブルーライトアップ										
実施時期	①令和6年11月10日(日) ②令和6年11月10日～11日										
実施場所	浜松南病院(浜松市中央区白羽町26番地)										
内容	①遠州健幸マルシェ ・ 地域住民の健康増進と防災意識の向上を図るイベントを実施。参加者数は約1,000人。 ・ 健康増進を図るイベントとして、体組成測定(Inbody)・骨密度測定・手洗いチェック・ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」の紹介・コンテンプラリーダンスを実施。 ・ 防災意識向上を図るイベントとして、消防車両、救急車両展示・防災体験(けむり体験)、防災食品、防災クッキング、防災グッズ展示、災害図上訓練「DIG」、ステージイベント(アイドル谷本尚穂さんによる防災講座を実施。 ・ その他医療や福祉への関心を高めるイベントとして、お薬分包体験・高齢者体験・ボッチャ体験・福祉車両、セニアカー体験や、地域の学生による和太鼓演奏・書道パフォーマンス、浜松アイドルユニットH&A. ライブ・縁日・キッチンカーの出店等を実施。 ・ 医療講演会の開催(各1回)。演目は、「大規模災害時に医療はどうなる?」、「浜松、南でもリハビリ体操」、「災害時も健康に過ごすために」延べ104人参加。 ②ブルーライトアップ ・ 11月14日の世界糖尿病デーに合わせて、病院を11月10日～11日の間ブルーライトアップし、糖尿病の予防等の啓発を図った。										
(6)総事業費	911,957円	(7)補助金額	358,000円								

	項 目	ランク		
		A	B	C
(8) 評 価	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5 費用対効果	高い	普通	低い
(9) 意見等				
1 事業目的の達成度 - 健康増進と防災意識向上に関して、前年より事業規模を拡大し、実感して体験できるプログラムを充実させたことで、地域の医療・防災の向上につながったと考える。 - 前年度から継続したイベントであり、予定参加者数1,200人に対し1,000人であったものの、前年の800人に対しては200人増加しており、地域のコミュニティの活性に寄与した。 2 地域資源の活用度 - 浜松市内の企業・福祉機関・行政や南地域の学生等、地域の多様な団体の賛同と協力を得ることが出来た。 - 体組成測定器や骨密度測定器等、浜松南病院の医療機器を使用し、健康意識を高めるイベントを実施した。 - 南地域の津波避難ビルに指定されている浜松南病院でイベントを実施した。 以上から、地域資源を積極的に活用していると考ええる。 3 地域への貢献度 - 平常時は病気や災害に対する意識が徐々に薄れていってしまう傾向がある中、本イベントに地域の住民1,000人が参加したことで、病気や災害に対する意識向上に貢献した。 - 避難ビルに指定されている浜松南病院でイベントを実施することで、多くの地域住民が避難経路を確認しながら来場。防災意識向上に寄与した。 4 財政支援の妥当性 - 専門的医療機器を使用した測定や、実施団体の医師が行った講演会等、医療機関の専門性を活かしており、公益性は高い。 - 地震が起きたときには甚大な被害が予測される地域であるため、防災意識向上イベントについても公益性が認められる。 5 費用対効果 - 約1,000人の地域住民が、自身の健康状態を知る機会と災害体験を得ることで、健康増進と防災意識向上を図ることができた。 - イベントの趣旨に賛同した地域企業・団体による様々なイベントとの相乗効果により、地域住民の意識の向上がより一層図られた。 6 その他 - 今後も地域住民の健康と防災意識を高める事業として、継続的に実施されることを期待する。				

第10号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	地域交流 健康増進/防災意識向上イベント
事業主体名 (共催、後援、協力等)	医療法人社団 綾和会 浜松南病院 【協力】 ● 浜松市ウエルネス推進事業本部 ● ㈱スズキ自販浜松 ● ミドリ安全浜松㈱ ● 地域包括支援センター新津 ● 浜松南高校書道部 ● 浜松江之島高校美術部 ● 東海調理製菓専門学校 ● 浜松市健康医療課 ● 南消防署 白脇出張所 ● ㈱パイフォトンクス ● ㈱HERO' S Academy ● ㈱タイカ ● ㈱フィリップス・ジャパン ● モダンバレエ松田 ● ソフィアメディ ● 愛 WORLD ● 小麦の奴隷 ● とんかつ新宿さぼてん
実施時期	2024 年 10 月 1 日（火） ～ 2025 年 3 月 31 日（月）
実施場所	浜松南病院（浜松市中央区白羽町 26 番地）
参加人数	団体スタッフ 61 名 、参加者 約 1,000 名
事業の内容	(1)「遠州健幸マルシェ」の開催 【日時】11 月 10 日（日）午前 10 時～午後 3 時 【場所】浜松南病院内、駐車場 【参加者数】約 1,000 名 【内容】（イベントの様子は別紙参照） ①健康増進や防災意識向上を図るブースの出展 ○屋内プログラム ・講演、リハビリ室見学 ・体組成測定（Inbody） ・防災クッキング

	・高齢者体験 ・骨密度測定 ・手洗いチェック ・お薬分包 ・コンテンポラリーダンス ○屋外プログラム ・消防車両、救急車両展示 ・防災体験（けむり体験） ・防災食品、防災グッズ展示 ・セニアカー、福祉車両展示 ・災害図上訓練「DIG」 ・ステージイベント アイドル谷本尚穂さんによる防災講座 浜松アイドルユニット H&A. ライブ 和太鼓演奏 ・縁日、キッチンカーの出店 ②医療講演会の開催（各1回開催） ・浜松市健康医療課「大規模災害時に医療はどうなる？」（参加者 27 名） ・リハビリ科長「浜松、南でもリハビリ体操」（参加者 35 名） ・院長、薬剤科長、栄養科主任「災害時も健康に過ごすために」（参加者 42 名） →病院の担当部署だけでなく民間企業等の協力のもと、多くのブースを出展することができた。 →参加者の方々は、様々な体験等を通して自身の身体や健康に関心を抱いていた。 (2)ブルーライトアップの実施 【日時】11 月 10 日（日）午後 5 時 ～ 11 日（月）9 時 【参加者数】約 300 名 【内容】（別紙参照） ・世界糖尿病デー（11 月 14 日）に合わせて病院をブルーライトアップし、糖尿病の予防等の啓発を図った。
--	---

事業目的の 達成度	【事業目的】 ● イベントを通じて地域住民の健康増進/防災意識向上 ● 地域コミュニティの活性 →昨年度から継続して行い、昨年度約 800 名の参加者が本年度 1,000 名の参加者となり参加者が増加した。 また、健康増進と防災意識向上に関して、より実感していただけるように体験できるプログラムを充実させた。 特に、地域コミュニティの活性の意味で、多くの地元企業・団体・行政に協力をいただき、地域が一体となって医療・防災への関心を高めるよう努めた。 上記理由にて、設定した事業目的は達成できたと考える。
地域資源の 活用度	● 病院職員・病院所有機器による健康に対する啓発 →参加スタッフは全員実際に勤務している病院職員で構成(61名)され、病院で実際に使用している機器を使用した。 ● 南地域の津波避難ビルに指定されている当院建物を使用した防災意識強化 →多くの地域住民の方々に参加いただき、避難経路を確認しながら来場いただいたことで、防災意識向上に寄与。 ● 地域の民間企業/高校生/消防署・行政 産学官協力による防災意識の向上 →当イベントの趣旨に賛同いただいた、多くの地元企業・団体・行政に協力をいただいた。
地域への 貢献度	【地域課題】 ● 病気・災害等の有事に対する予防/対策が不十分 ● コミュニティの場が乏しい →病気や災害へ意識を向けるだけでなく、防災クッキング・手洗いチェック・健康クラブアプリ紹介等の予防/対策のプログラムの多く企画した。 また、約 1,000 名の方々に来場いただけたことで、地域コミュニティの場を提供できた。 健康増進への意識の上昇、防災意識の向上の契機となることができた。
財政支援の 妥当性	当院(医療)の専門性を活かして地域を活性化するモデルケースとして展開し、行政施策を超えた地域コミュニティの自主性を促進した。
費用対効果	1日で約 1,000 名の地域の方々の健康増進/防災意識向上を図ることができた。 また、多くの地元企業・団体・行政に協力をいただけたことで、それに携わる方々の健康増進/防災意識向上も図ることができた。そのため参加者以上の効果が得られたと考えられる。イベントの趣旨に賛同いただいた地元企業・団体・行政には、無償で協力いただき、経費も抑えることができた。
今後の方向性	*来年度以降も事業を継続していくか記入してください。 来年度以降も健康増進/防災意識向上をテーマに事業を継続する予定。 本年度の反省を生かして、来年度さらに多くの地域の方々へ来場いただき、より地域の健康増進/防災意識向上ができるよう図っていく。
備考	

第 1 1 号様式（第 1 0 条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	358,000	358,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	911,957	897,481	14,476		

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	44,000	40,000	4,000		イベント出演料(防災講座、ステージ出演) 44,000 円
消耗品費	321,290	389,737		△68,447	書道パフォーマンス用品 24,970 円 トロ舟 2 点 3,418 円 トロ舟、ミニスプーン、チケット 1 0 点、手提げ袋 9 点、コップ、ラップ、子ども参加賞お菓子詰め合わせ 3 点 71,910 円 金魚すくい袋 3,780 円 大人参加賞：麦茶、緑茶、ウーロン茶 55,641 円 大人参加賞：緑茶 17,729 円 木製スタンプ 382 円 ラミネートフィルム

					A4・A3 サイズ各 5 点、石けん 5 点、ペ ーパータオル、ウェ ットティッシュ 6 点、引越しテープ 1 2 点、手指消毒用ア ル コ ー ル 3 点 56, 525 円 薬分包紙 32, 725 円 講演会教材 8, 910 円 手洗いチェッカーロ ーション、セラバン ド、インボディ用検 査用紙 37, 158 円 コルク玉 1, 650 円 災害クッキング ・やきとり缶 918 円 ・千切大根、乾燥わ かめ、ツナ缶 2, 355 円 ・コンソメ、ドレッ シング 878 円 ・マークイン、人参、 玉葱 1, 369 円 ・ウインナー 972 円
印刷製本 費	95, 227	20, 404	74, 823		パンフレット印刷費 3, 300 部 64, 944 円 検査用トナーカート リッジ 30, 283 円
使用料及 び賃借料	429, 550	415, 050	14, 500		ステージ一式(4 t ト ラック荷台をステー ジに代用) 33, 000 円 骨 密 度 測 定 器 70, 400 円 テント・音響機材等 202, 400 円 ブルーライト機材 123, 750 円

原材料費	21,890	32,290		△10,400	ベニヤ板 : 21,890 円 (5 枚)
計	911,957	897,481	93,323	△78,847	